



徳島県 医療ソーシャルワーカー 協会ニュース

挨拶

徳島県医療ソーシャルワーカー協会
教育部 高木 隆司

今一度、「初心」に戻る

「桜の木 見上げて想う 春のころ」私が中学校の卒業文集で詠んだ歌です。年齢を重ねたからか、この冬の寒さは身体に堪え、また長く感じられ、やっと日差しが春らしくなり、季節の移り変わりを感じます。

桜の開花情報や花見のニュース、さくら季節限定のような言葉を耳にすると自然と心が躍り、テンションが高くなります。新年度を迎えるにあたり、自身がソーシャルワーカーとして働きたいと思ったきっかけへ少しタイムスリップしてみます。

私が高校2年生の時に祖父が他界しました。同時期に父が食道静脈瘤破裂からの肝硬変、肝臓がんで長期的ながん治療に入りました。当時、祖父の入院している病院へ自転車を漕いで面会に行っていたことと、父が受ける医療を客観的に見つめる中で、病院にソーシャルワーカーという仕事をする人が居るというのを初めて知りました。ちょうどそれらの時期に、学校で進路希望調査があり、患者や家族の支えになる仕事は魅力的であり、社会福祉を学びたいと考えるようになりました。

現在、夢であったソーシャルワーカーとして相談援助業務を遂行していますが、日々の実務が忙しいということを使い訳にして、自身の支援内容や業務に対して見直しや反省ができていない現状があります。父親は約7年の闘病を経て他界しました。社会人として世間に出てはいましたが、当時24歳の私には実父の死はやはり衝撃でした。このような不安や悲しみの気持ちに寄り添えるソーシャルワーカーになりたいと思いました。

せっかくソーシャルワーカーとして医療福祉の一員として働く訳ですから、これらの「患者家族が抱くリアルな気持ち」を忘れずに邁進していきたいと考えます。

2018年の診療報酬・介護報酬の同時改定にあたり、社会福祉士の存在意義が高まる状況になりつつあります。これらは諸先輩方の取り組みや活動により、今日のソーシャルワーカーの立場があることを忘れてはなりません。

今般、ソーシャルワーカーになりたい！と希望する学生は少ないように聞きます。ソーシャルワーカーという仕事が人間のいのちや生活に向き合う魅力ある仕事であることを我々が周知できていない結果かもしれません。

今年度も当協会は理事会を通じて教育部が中心となり、有意義な研修や勉強会を企画していきます。協会員の皆様には、是非研修にご参加頂き、自己研鑽や協会員同士の連携を深める場となればと考えます。今一度、さくらの季節にはフレッシュな気持ちに立ち戻り、思い返す時間を持つてはいかがでしょうか。

引き続き当協会の運営にご理解とご協力、そしてご指導を宜しくお願い申し上げます。

学会報告

第9回 徳島県医療ソーシャルワーク学会
（H29年11月18日～11月19日）
＜徳島市青少年交流プラザにて＞

「学会へ参加して」 徳島平成病院 相原光一郎

今回、徳島県医療ソーシャルワーカー協会に加入して初めての学会でしたが、とても勉強になる良い学会でした。講演・演題発表はもちろん、日頃連携を取らせていただいているソーシャルワーカーの方々と、直接話す機会に恵まれたことに感謝しています。今後も協会活動に参加し、横のつながりを大事にした顔の見える関係づくりをしていければと思います。

さて、この学会で特に印象に残ったのは、今回の講演にて講師を務めていただいた中本様のソーシャルワーカーの存在意義についてのお話です。病気と生活は表裏一体であり、メディカルとソーシャルワークが共に提供されることにより、その人の全体に関わることができる、と。病院にソーシャルワーカーがいることの意味、退院支援のあるべき姿を再認識できる機会となりました。

1日目、2日目ともに現場で働いていらっしゃるソーシャルワーカーの方々と意見交換できたことにより、自分の考えや物事の捉え方を改め、より多角的に見る意識をもつことができました。こういった意見交換等で日頃の業務に関することをフィードバックできる場があれば、ソーシャルワーカーとしてのスキルアップにつながるのではと思いました。

今後もぜひ参加出来たらと思います。ありがとうございました。



「学会に参加して」 居宅介護支援事業所イツモ阿南 広岡 香

今年度より協会に入会し、学ばせて頂いています。ケアマネジャーですので、場違いかな…と思ったりもしていますが、めげずにこれからも研修等参加させて頂ければと考えていますので、よろしくお願い致します。

『認知症から見る権利擁護～ソーシャルワーカーにできること～』というテーマで、1日目は高知県医療ソーシャルワーカー協会リゾートヒルやわらぎ中本雅彦様の研修、2日目はMSW7名の方の演題発表でした。

1日目の研修では、ワールドカフェ形式でのグループワークにおいて、身の回りにおける認知症の権利侵害、なぜ権利侵害は起こるのか、権利侵害をなくす為にはどうすればよいかを話し合いましたが、本当に！目から鱗でした。MSWの皆様の考え方・意見全てが私にとって新鮮で、このような考え方があるのか！と思うと同時に、いかに自分がケアマネジャーの枠内で物事を考えているのか実感する形となりました。

研修の中で、一番考えさせられたのは『ウェルビーイング』でした。利用者の望む生活…自身の仕事に置き換え考えました。私は利用者のウェルビーイングを知っているだろうか？本人の望む生活とは何か？また、そのように支援出来ているか…。

私はケアマネジャーですので、介護保険利用者がクライアントになりますが、サービスありきになっていないか、サービスを利用することが目的になっていないか…正直、目の覚める思いでした。介護保険の制度的な問題もありますが、常に利用者のウェルビーイングを求め続けるケアマネジャーでありたいと思いました。

医療ソーシャルワーカー協会の研修に参加させて頂くと、必ず驚きや発見があり初心に戻れます。これからもよろしくお願い致します。

研修報告

徳島県医療ソーシャルワーカー協会 第2回定期研修会
スキルアップ研修「アセスメントについて」

講師：松井 久典 氏

（京都第一赤十字病院 医療社会事業課）

< H30. 2. 18 田岡病院にて >

「研修会へ参加して」

徳島大学 歯学部 口腔保健学科 3年 一ノ宮実咲

スキルアップ研修において、ソーシャルワークアセスメントについて教えて頂いた。アセスメントとは、いろいろな情報から、その立場にとって、有用な情報を引き出し、その立場だから云える「像」を導き出すことであり、同じ物事であっても、立場が異なると見え方も異なってくると学んだ。また、アセスメントの3つの軸として、①緊急度 ②個人が中心/システムが中心 ③ストレングスの視点(クライアントの強みを引き出す)があることも学んだ。

研修の中で、事例を用いて実際にアセスメントを行う機会があったが、収集した情報を羅列してしまい、今後何が予想されるのか、どうしたことが必要か、について考えることの難しさを感じた。研修の後半においては、自身をアセスメントする必要性について教えて頂いたが、充実した支援を行うためには、自分自身が健康であることも大切な要因の一つであると学んだ。また、"ソーシャルワーカーはクライアントと併走し一緒に考える"という言葉が印象に残っており、病院においてそのような視点を持った専門職が存在することの必要性や、ソーシャルワーカーの価値を感じた。

現在私は、相談援助実習の期間中であり、日々多くのことを学ばせて頂いているが、今回の研修で学んだことを活かし、さらにソーシャルワークアセスメントについて理解を深めていきたい。

ホームページリニューアルのお知らせ

協会のホームページが、リニューアルされました。

URL : <http://tokushimamsw.com>

今まで以上に使いやすく、見やすいホームページになりましたので、是非今後もご利用いただきますようよろしくお願い申し上げます。

協会のWA

『もしもタイムマシンが使えるなら』

社会医療法人 凌雲会 稲次病院
武知孝典

タイムマシンで過去に行くと思うと、後悔することばかりでしたので、未来へ行ってみたいと思います。

20年後の2038年。人口は大幅に減少し、高齢化も大きく進行、地方では過疎の進行で社会生活が成り立たない地域が増え、多くの産業の衰退が見込まれる反面、医療は技術的な進歩で、平均寿命も延びることにより、MSWの仕事も高齢化、疾患への対応、退院を受け入れる家族の高齢化などより困難な課題が山積していました。だからこそMSWの役割はこれまで以上に重要視されていると思います。

そんな時代に私は67歳。既に仕事はリタイアし、健康であれば趣味の旅行を楽しんでいるのでしょう。時間が無いと行けないヨーロッパやアメリカ大陸などゆっくり回っているのでしょうか。それとも病気をして、MSWの皆さんのお世話になっているかも…。

趣味を楽しむためには自分が健康でなければいけませんね。あまり何十年先を見据えることより、未来を楽しく過ごすために、また過去に後悔しないためにも、今日一日健康で楽しく過ごすことを心掛け、自分なりに満足できるおっさんを目指していきたいと思います。

次回のテーマは・・・

“あなたのストレス発散方法は？” です

ストレス多い(?)業務だと思います。

皆さんはどのようにストレス発散しているのでしょうか？

会費納入のお願い

《協会会費納入についてのお願い》

新年度分(H30年度)の会費納入をお願いします。

「振込取扱票」を同封しますので、郵便局よりお振込みくださるようお願いいたします。

インフォメーション

”平成30年度
徳島県医療ソーシャルワーカー協会
定期総会・記念講演会 “

開催日 : 平成30年5月20日(日)
9:00 ~ 12:00

開催場所 : 博愛記念病院

<記念講演>

テーマ

「平成30年度 診療報酬・介護報酬の同時改定から紐解く！
～ これからの医療ソーシャルワーカーに期待すること ～ 」

講師 : 博愛記念病院
理事長 武久洋三 先生

<協会事務局>

東徳島医療センター 地域連携室内

〒779-0193

徳島県板野郡板野町大寺字大向1-1

TEL:088-672-6306 FAX:088-672-4266

e-mail :

renkei@higashitokushima.hosp.co.jp